

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月19日(火)に全国の中学3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」についての結果が公表されました。本校の結果の分析および今後の取り組みについて検討し、すでに指導にいかしております。遅くなりましたが、その概要についてお知らせいたします。

【各教科の平均正答率の比較】

	国 語	数 学	理 科
全国平均との比較	下回る	上回る	上回る
県平均との比較	下回る	上回る	同程度

全国平均・県平均と比較し、数学、理科はともに上回り、国語は下回るという結果になりました。基本的な力については国語、数学、理科ともに身につけています。

各教科の調査における具体的な内容について結果を次のように分析しました。

【国語】

- 各設問別に見ると、特に「表現を直したり、意図を書いたりする問題」で10ポイント以上下回る結果となりました。一方「説明が適切かを問う問題」では全国平均とほぼ同じでした。
- 相手や目的に応じて表現を考えていくことに課題があります。「説明が適切かを問う問題」では、全国平均と大きく差がないことから、相手意識や目的意識を明確にして実生活に即した表現活動を取り入れていきます。また、様々な言語活動で書くことを柱にすえた学習を行っています。

【数学】

- 各設問別にみると、「数と式」で「知識・技能」を問う問題、図で示されたものをもとに説明する問題で全国平均と比べ正答率が高い傾向が見られました。
- 評価の観点別正答率では「知識・技能」は同程度、「思考・判断・表現」は3～4ポイント上回りました。また、問題形式別では、記述式で特に全国平均を上回りました。
- 基本的な力は定着しているととらえており、根拠をもとに話し合う数学の学習を進めることで全体の力を一層伸ばしていきます。

【理科】

- どの領域でも県・国と同程度でした。評価の観点別では、「知識・技能」で上回り、「思考・判断・表現」では下回りました。問題形式別では、記述式で全国平均を上回りました。
- 知識技能は定着しているが、条件や根拠をもとに理由を説明する力に課題がみられます。本質的なことまで理解できていないと答えられない問題に課題が多い傾向にあります。理由を考え、説明しあう場面や、結果をもとに根拠を考え説明しあう場面を大事にする授業づくりを進めます。

【質問紙調査の結果から見えてきたこと】（「している」、「どちらかといえばしている」の合計）

1 自己肯定感に関わること

(7)自分には、よいところがあると思いますか。

本 校	長 野 県	全 国
89.2%	77.7% (+11.5)	78.5% (+10.7)

(9)将来の夢や目標を持っていますか。

本 校	長 野 県	全 国
82.4%	67.3% (+15.1)	67.3% (+15.1)

(11)難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。

本 校	長 野 県	全 国
84.3%	69.2% (+15.1)	67.1% (+17.2)

2 学習への取り組み方に関わること

(57)算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。

本 校	長 野 県	全 国
61.7%	46.4% (+15.3)	47.3% (+14.4)

(69)理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。

本 校	長 野 県	全 国
82.3%	71.5% (+10.8)	68.1% (+14.2)

【今後の課題】

1 自己肯定感に関わること

本校の生徒は自分のよいところがあると肯定的に受け止めている生徒が県、全国と比べても多く、そのことが、夢や目標を持ち、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する気持ちの高さにつながっていると考えられます。今後も生徒の自己肯定感を高められるような場面を多く取り入れていきたいと考えています。

2 学習への取り組み方に関わること

数学、理科では、学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている生徒が県、全国と比べても特に多い傾向がわかりました。また、理科の授業で観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている生徒も多い傾向がありました。このことから、学んだことについて自分なりに考えて取り組む生徒が多いと考えられます。理由を考え、説明しあう場面や、結果をもとに根拠を考え説明しあう場面を積極的に取り入れることで、さらに力を伸ばすことができると考えています。

【学習機会の確保に関わって】

希望者を対象に、毎週水曜日の15:30～16:20に「壮心塾」を実施しています。現在、地域から募った3名の方に学習支援ボランティアとして、ご指導いただいています。各自が課題を持ち寄って取り組み、質問等があれば個別に教えていただいています。自ら学習しようとする姿勢をつくる意味でもよい機会となっています。現在14名の生徒が登録していますが、途中からの申し込みも受け付けていますので、ご家庭で相談していただき、参加したい生徒は担任に相談してください。